

# 東京IPO主催 個人投資家様向けIRセミナー



2023年9月2日  
ニチレキ株式会社  
(証券コード5011)

「道」創りを通して社会に貢献する  
「道」創りのリーディングカンパニー

# 「種を播け」



## 「種を播け」

よい種を播いて歩こう  
これが我が社のモットーです  
たとえ、どんな旱魃がきても  
枯れないような強い種をまき  
汗を流して肥料をやろう  
必ず立派な実がみのる  
たとえ、自分がとらなくても  
私はこう思っています  
種まきをしないで  
肥料をやらなくて  
誰も果実ばかりねらっているのは  
本当の繁栄はこない  
私はそう思います

池田 英一（当社創業者）

## ニチレキグループ企業理念

### 基本理念(種播き精神)

『種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる』

たゆみない努力の積み重ねによって絶えず新しい仕事を創造していきます。

### 経営理念

ニチレキグループは、「道」創りを通して社会に貢献するため、

- ①優れた機能とコストを満足する道路舗装材料ならびに工法の提供
- ②国民の共有資産である「道」をいつも見守る高度なコンサルティング
- ③顧客から信頼される施工技術

これらを完全に一体化し、株主をはじめ幅広い顧客の皆様から信頼される「道」創りになくてはならない収益性に優れた企業グループであり続けるとともに、社員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいのあるグループであることを経営理念とします。

I . 会社概要

II . 成長戦略 - 第10次中期経営計画

(2021年度～2025年度)

III . 2024年3月期 第1四半期概要と通期業績予想

# I . 会社概要

# 会社概要



名称	ニチレキ株式会社 NICHIREKI CO.,LTD.
本社所在地	東京都千代田区九段北四丁目3番29号
創業	1943年10月（設立 1949年9月）
資本金	29億1,968万円
代表者	代表取締役社長 小幡 学
従業員数	972名（連結、2023年3月31日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・アスファルト応用加工製品の製造・販売</li><li>・建築・土木用資材の製造加工・販売</li><li>・道路舗装工事・防水工事・上下水道工事、及びその他の土木工事の請負、これに関する調査・設計・監理 他</li></ul>

# グループ沿革



1943年	池田英一がアスファルトを用いた建築防水工事を行う日本瀝青化学工業所を興す
1949年	会社設立
1950年	東京都荒川区に東京工場・研究室を建設、アスファルト乳剤の製造を開始
1954年	分割合併等により日瀝化学工業株式会社に社名変更
1968年	東京都千代田区九段に本社ビル新築(現在に至る)
1974年	東証と大証の両市場第一部銘柄として上場
1977年	栃木県の小山工場内に技術研究所を開設
1994年	ニチレキ株式会社に社名変更
2002年	中国・北京市に特殊舗装材料の製造・販売を行う日中合弁会社 北京路新大成景観舗装有限公司を設立
2007年	初のM&Aを実施、大分県大分市の朝日工業テクノス(株)(2022年4月商号変更)を完全子会社化
2010年	中国・上海市に子会社 日瀝(上海)商貿有限公司を設立
2014年	連結子会社を完全子会社化
2017年～2019年	M&Aを実施、ラインファルト工業(株)、伸和化工(株)、ヒートロック工業(株)を完全子会社化
2020年	つくばみらい市に環境配慮型の生産・物流基地(つくばビッグシップ)を建設するための大規模な土地を取得
2022年	東京証券取引所の市場再編に伴い「プライム市場」を選択・移行
2023年	10月26日 創業80周年を迎える



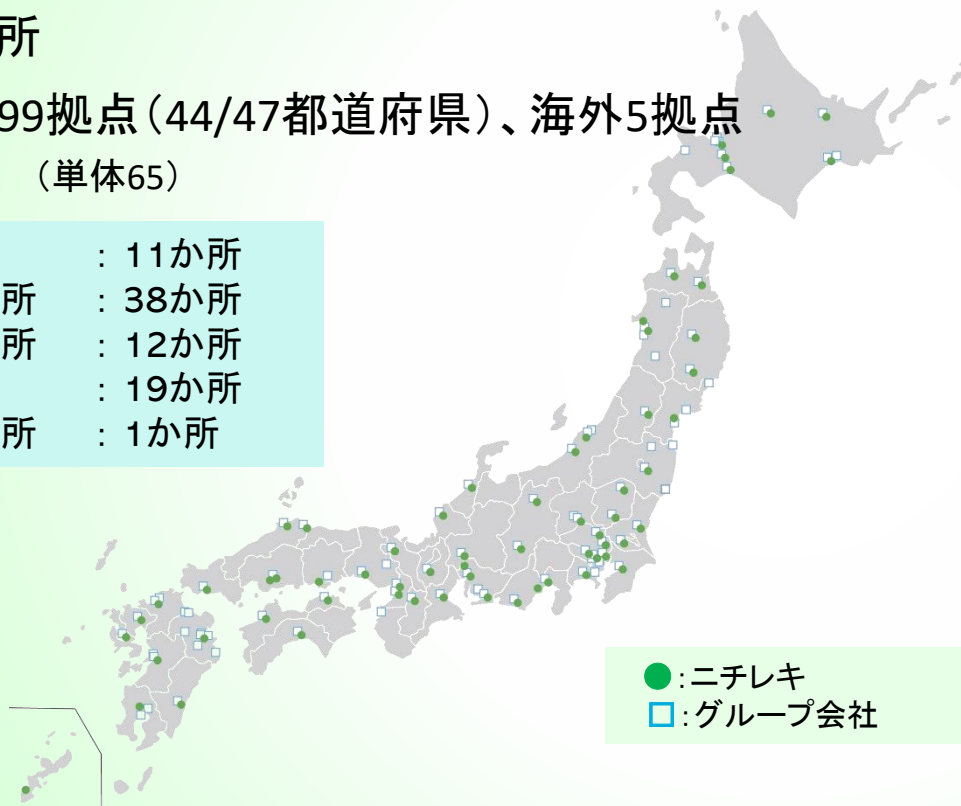
# 事業所・グループ会社 (2023年5月30日現在)



## ◆事業所

国内99拠点(44/47都道府県)、海外5拠点  
(単体65)

支店	: 11か所
営業所	: 38か所
出張所	: 12か所
工場	: 19か所
研究所	: 1か所



## ◆グループ会社(連結子会社)

北海道ニチレキ工事株式会社  
東北ニチレキ工事株式会社  
日瀝道路株式会社  
日レキ特殊工事株式会社  
中部ニチレキ工事株式会社  
近畿ニチレキ工事株式会社  
中国ニチレキ工事株式会社  
四国ニチレキ工事株式会社  
朝日工業テクノス株式会社  
九州ニチレキ工事株式会社  
ラインファルト工業株式会社  
ヒートロック工業株式会社

など34社



# 事業概要

主として道路舗装に関する製品、技術、工事等を幅広く提供する事業を展開

## ●アスファルト応用加工製品事業

アスファルト乳剤、改質アスファルト、橋梁床版防水材料、路面補修材、クラック補修材、景観舗装材料、工業用製品などのアスファルト応用加工製品の製造・販売、および建築・土木用資材の製造加工・販売



## ●道路舗装事業

道路舗装工事、橋梁床版防水工事、上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負、およびこれらに関する調査・診断、設計、監理



# アスファルト応用加工製品とは？

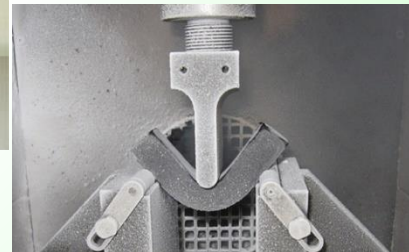
## アスファルト

応用加工して長持ちする道路へ

### アスファルト乳剤



### 改質アスファルト



# アスファルト乳剤とは？

- ◆ アスファルトと水とを乳化して、**常温でも液状で取り扱えるようにしたもの**。
- ◆ 主に、舗装の**層間の接着剤**、**舗装用常温混合物**に使用する。
- ◆ 加熱せず常温のまま使用できるので**安全に取り扱え**、**環境負荷も低減**できる。
- ◆ ニチレキは、アスファルト乳剤のシェアで、**国内トップクラス**。

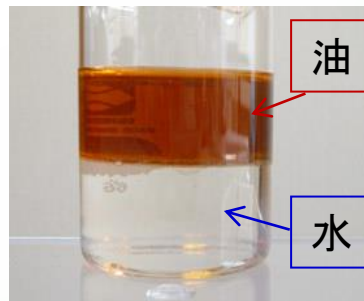


## 乳化

油と水のように本来混ざり合わないもの同士を、  
界面活性剤等を用いて均一に混ぜる技術。  
例) マヨネーズ、ドレッシング。



アスファルト乳剤の顕微鏡写真。  
アスファルトが水の中に  
均一に分散している。



# 改質アスファルトとは？

- ◆ アスファルトに、ゴムや樹脂等の様々な改質材を添加し、アスファルトの性能を高めたもの。
- ◆ 耐久性に優れた舗装を作ることができ、主に気象条件の厳しい地域や交通量の多い道路、排水・低騒音などの機能が求められる舗装に使用される。
- ◆ ニチレキは、改質アスファルトのシェアで国内トップクラス。



一般的なアスファルト    改質アスファルト



ふだん見ているアスファルト舗装は、アスファルトを接着剤にして石や砂を固めたもの。

# 改質アスファルト～排水性舗装



排水性舗装



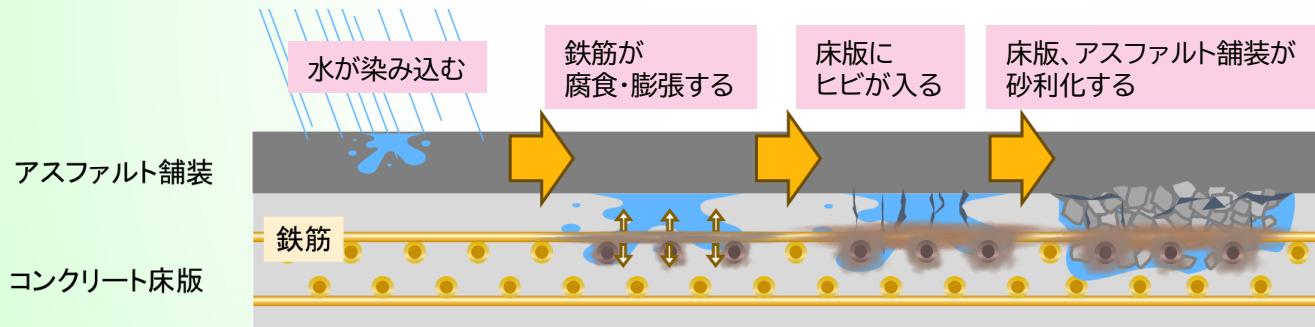
一般的な舗装

# 改質アスファルト～排水性舗装



# 橋梁床版防水とは？

- ◆ 橋は人・交通・経済をつなぐ大切なライフラインであり、日常を途切れさせないためにも長持ちさせる必要がある。
- ◆ 舗装を支えるコンクリート床版に水が染み込むと、内部の鉄筋が腐食し劣化が早まる。それを防ぐため、高耐久な床版防水が求められている。



コンクリート床版の上にしっかり防水を施すことが重要。

- ◆ ニチレキは、アスファルトによる建築防水工事の会社として創業しており橋梁床版防水は最も得意とする分野の一つ。

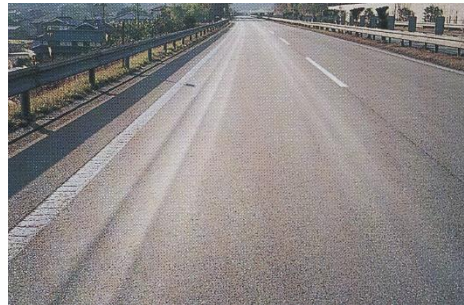
# 道路の調査とは？

- ◆ 道路舗装や橋梁といった社会インフラは、近年**老朽化**が進んでいる。道路の破損にいち早く気づき、手遅れになる前に適切な治療をすることが必要。
- ◆ ニチレキは、長年培ってきた舗装管理および舗装補修技術を活かし、道の健康状態を診察・治療する「医師」のような役割を果たしている。

破損の例



ひび割れ



わだち掘れ



ポットホール(穴ぼこ)



# 道路の調査

## GLOCAL-EYEZ(グローバル・アイズ)

- ◆ 東京大学・長山教授、株式会社スマートシティ技術研究所と共同開発
- ◆ スマートフォンで撮影した路面の動画から、AIが速く、正確にひび割れやわだちを解析する道路点検DXシステム

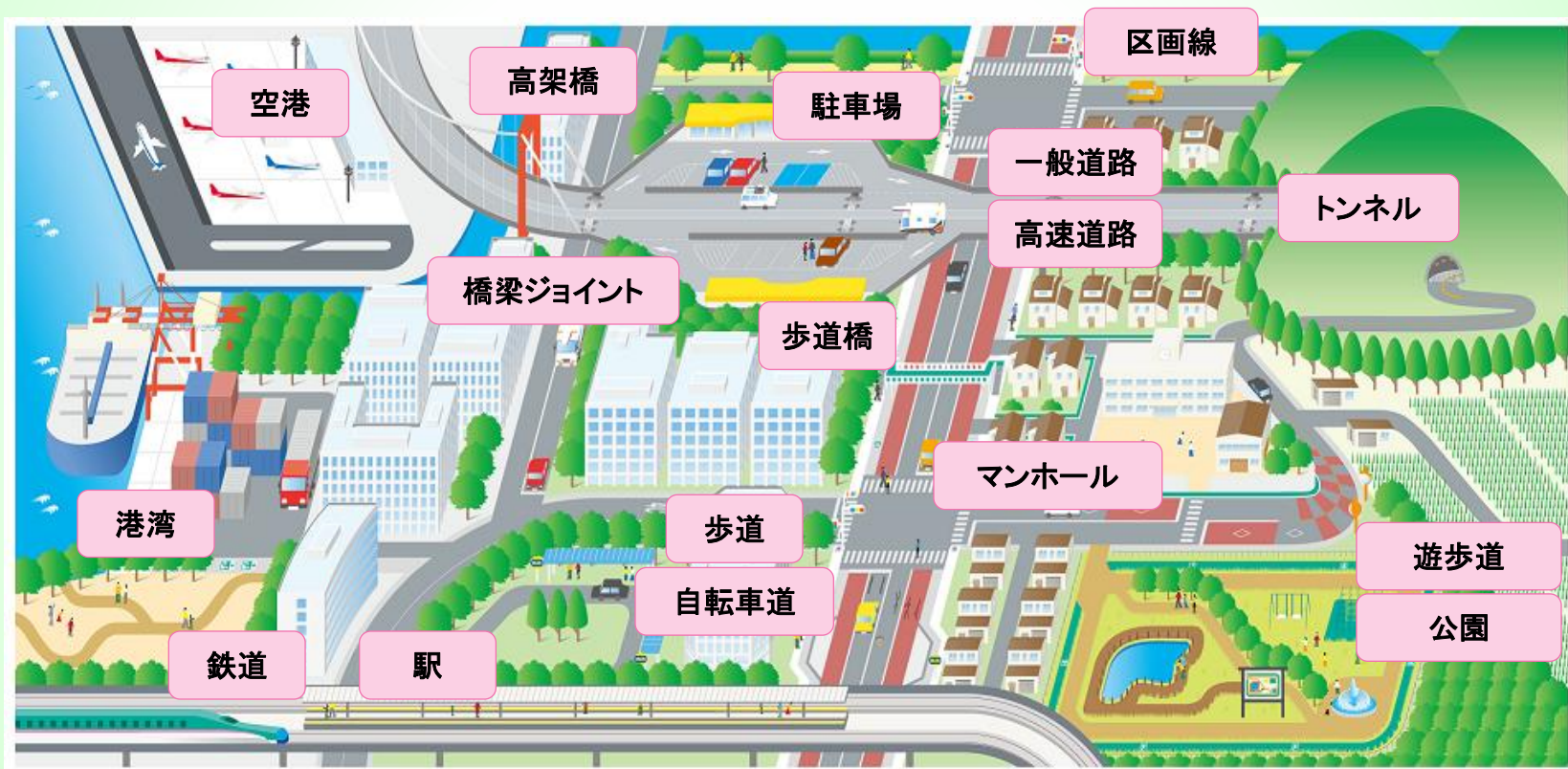


## smart床版キャッチャー

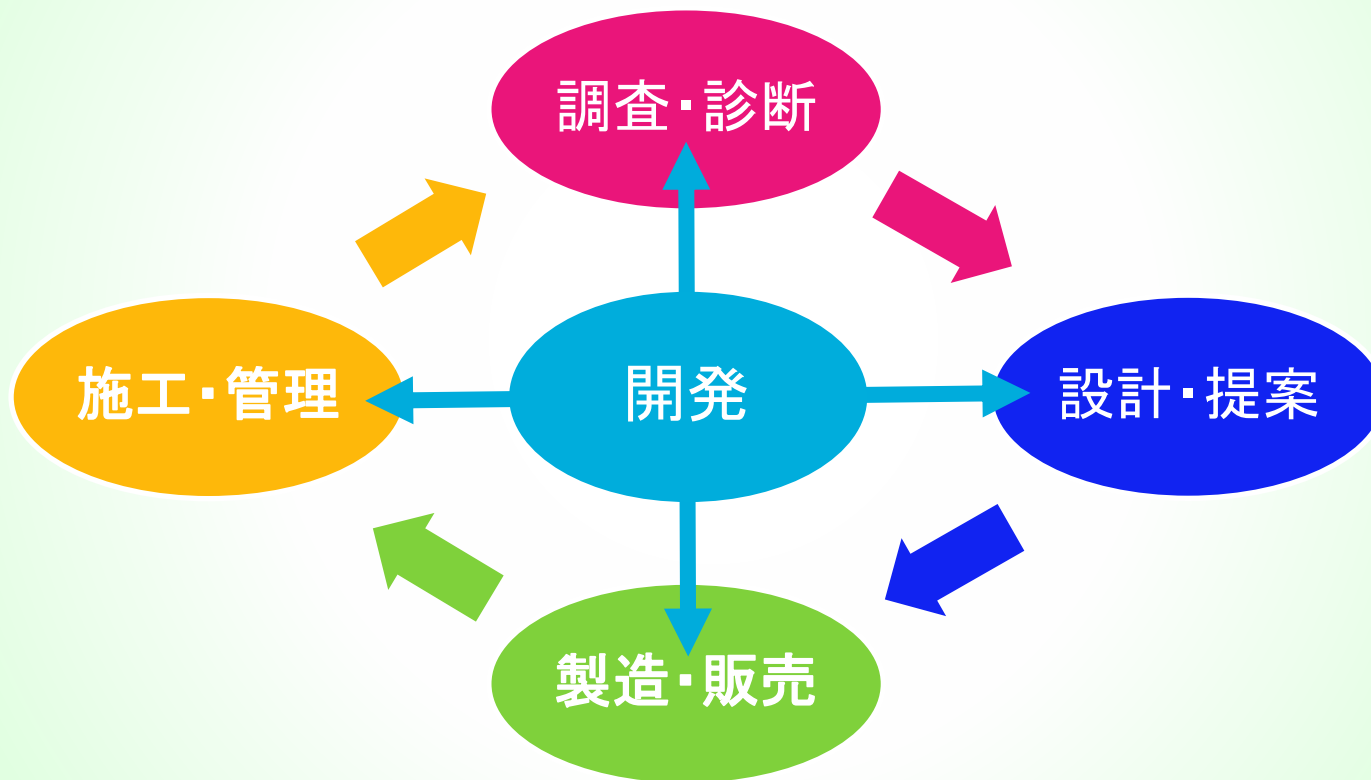
- ◆ 電磁波技術を活用し、アスファルト舗装を剥がすことなく、橋梁コンクリート床版上面の損傷状況の調査が可能



# 事業領域

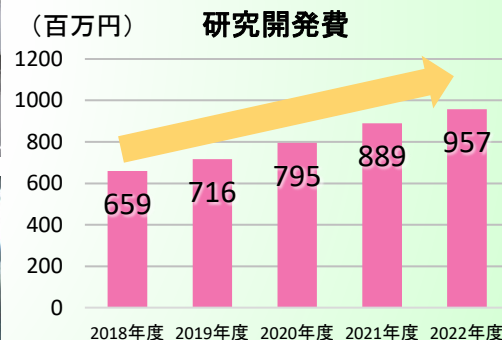


# ビジネスモデルにおける強み



# 研究開発の強み

- ◆ ニチレキ社員の約1割(約40名)が所属し、営業利益(連結)の1割超を研究開発に投入
- ◆ 舗装における性能評価試験機類を配備、道路の長寿命化、大規模更新などの社会インフラのメンテナンス時代に対応した環境配慮型の製品・工法の研究開発を推進



(※)上記の研究開発費には、ソフト関連開発費用等を含む

# 気候変動への対応

ニチレキグループでは、気候変動による事業への影響を重要な経営課題の一つと捉え、気候変動対策への取り組みを積極的に実施。

## ■ 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)に賛同

### 目標

\*「統合レポート2022」において、TCFD提言に基づく開示を行っています。

■ 2030年度までにScope 1+2の温室効果ガス排出量を2013年度から50%削減

■ 2050年までにバリューチェーン全体の温室効果ガス排出量ネットゼロ

### 施策



■ 製造方法の改革、グリーン電力の購入、太陽光パネルの設置促進等

■ 長寿命化・中温化舗装用改質アスファルト等の環境配慮型製品の販売拡大

■ 低炭素型の常温舗装材料及び施工技術の開発促進

## <CO<sub>2</sub>排出量の削減目標>



# ニチレキの「足すテナビリティ」

ニチレキグループは環境に配慮した製品・工法で、  
ステークホルダーの皆様のCO<sub>2</sub>排出量削減ニーズにお応えします。

アスファルト乳剤

改質アスファルト



橋梁床版防水

景観舗装

etc...



リサイクル



中温化



低炭素



長寿命化



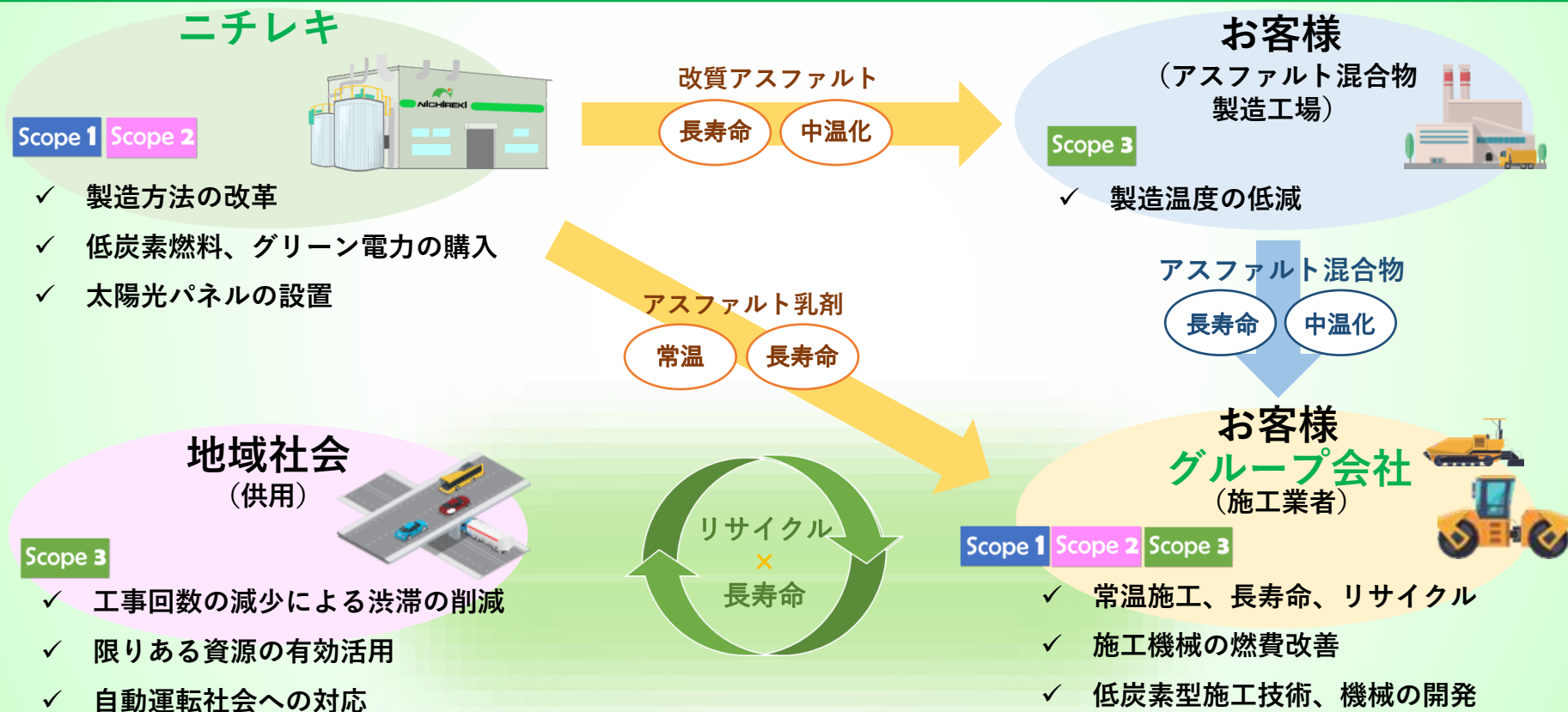
常温



安全安心

長寿命、リサイクルなどのさらなる性能・機能を「プラス」する  
すなわち『 **足す**テナビリティ<sup>®</sup> 』により、持続可能な道づくりに貢献します。

# ニチレキ製品・工法のCO<sub>2</sub>削減イメージ例



# スーパーコンテナファルト



アスファルト混合物製造時のCO<sub>2</sub>排出量  
約**13%**減

- ◆ 極めて高い塑性変形抵抗性を有し、**港湾や空港等**に適用可能な重荷重用特殊改質アスファルト
- ◆ 従来のニチレキ製品であるコンテナファルトSに比べ、混合物の製造温度を185℃から155℃に、**30℃低減**



足可テコビリティヤ®



長寿命化



舗装の**長寿命化**に寄与し、補修頻度を低くできることから  
工事作業および交通渋滞等によるCO<sub>2</sub>発生量の削減にも貢献



# スーパーシナヤカファルト



アスファルト混合物製造時のCO<sub>2</sub>排出量  
約**22%**減

- ◆ 手で曲げられるほどの柔軟性と、交通荷重に耐えうる強靱性を兼備した特殊改質アスファルト
- ◆ 従来のニチレキ製品であるシナヤカファルトに比べ、混合物の製造温度を180℃から130℃に、**50℃低減**



足すテコビリティヤ®



長寿命化



舗装の**長寿命化**に寄与し、工事回数が約2分の1に削減できることから  
工事作業および交通渋滞等によるCO<sub>2</sub>発生量の削減にも貢献

# スーパーコンテナファルト + スーパーシナヤカファルト



足可テコビリテヤ®



長寿命 + 中温化により、CO<sub>2</sub>排出量

約**48%**減

- ◆長寿命なアスファルト混合物である、スーパーコンテナファルトとスーパーシナヤカファルトを**組み合わせ**て**舗装**することにより、これまでにない**長寿命**舗装を実現できます。
- ◆これにより、50年間の舗装のライフサイクルにおいて、CO<sub>2</sub>発生量を約48%削減できます。

国土交通省

「R4新4号国道古河地区舗装工事」に採用

試験施工が行われ、適切な施工管理のもと良好な出来形を確保



# スーパーシナヤカファルト

- ◆ 2022年12月7日 「社会インフラテック」にて、斉藤鉄夫国交相がニチレキブースにご来訪



※ ニチレキブースにて「スーパーシナヤカファルト」の柔軟性を確認される斉藤国交相と小幡代表取締役社長

# スタビセメントRC工法



既設舗装の再生利用により、CO<sub>2</sub>排出量  
約**22%**減

- ◆ 破損が進行した既設舗装を現位置で再利用し、新たな舗装を構築することにより、現場から排出する舗装廃材を約**80%**削減



足す「スタビ」セメント®



長寿命化



工事期間の短縮やそれに伴う交通渋滞の軽減等により、さらなるCO<sub>2</sub>発生量の削減にも貢献

※「打換え工法」と比較  
(一般的な地方道レベル、設計CBR=4、大型交通量N5)

# スーパーシナヤカファルト + スタビセメントRC工法

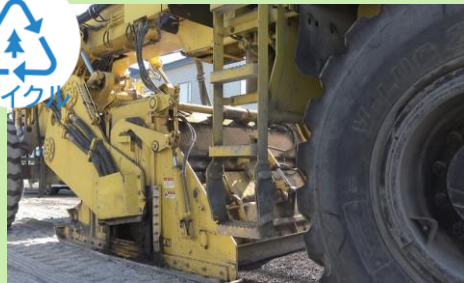


長寿命+リサイクルにより、CO<sub>2</sub>排出量

約**49%**減

- ◆ スタビセメントRC工法で構築した基盤の上に、スーパーシナヤカファルトを舗装することにより、これまでにない舗装の**長寿命化**を実現
- ◆ これにより、50年間の舗装のライフサイクルにおいて、CO<sub>2</sub>発生量を約49%削減

足可テゴビリティ®



# 沿道環境への配慮



足可テコビリテヤ® 製品・工法を使用した沿道環境の改善により  
ステークホルダーの皆様に安全・安心をお届けします

## スーパーロメンパッチ

騒音・振動低減



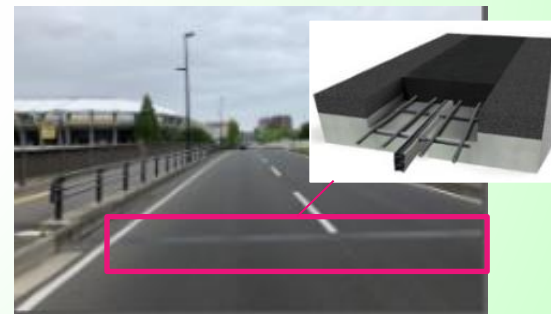
## ケミファルトMX

交通安全  
騒音低減



## シームレスジョイント

騒音・振動低減



## Ⅱ．成長戦略-第10次中期経営計画 (2021年～2025年度)

第10次中期経営計画(2021年度～2025年度)

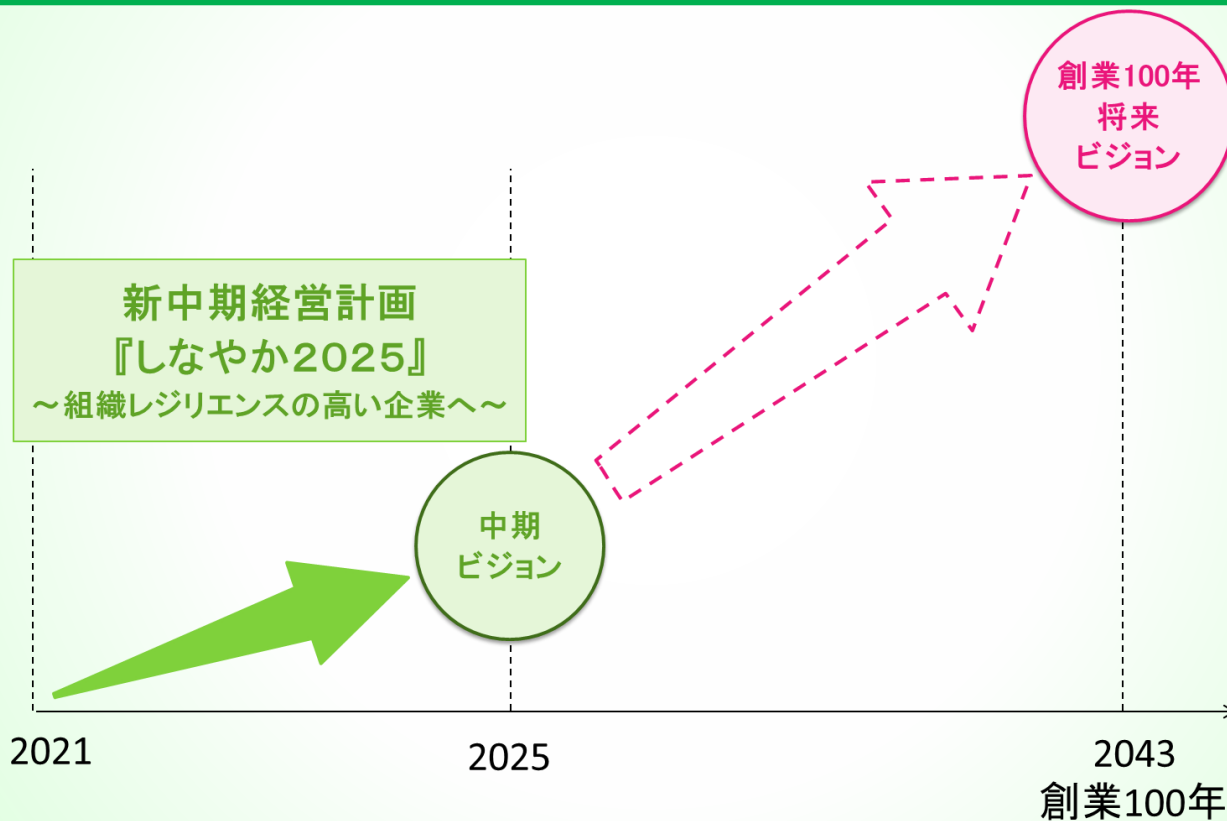
## しなやか2025

～組織レジリエンスの高い企業へ～

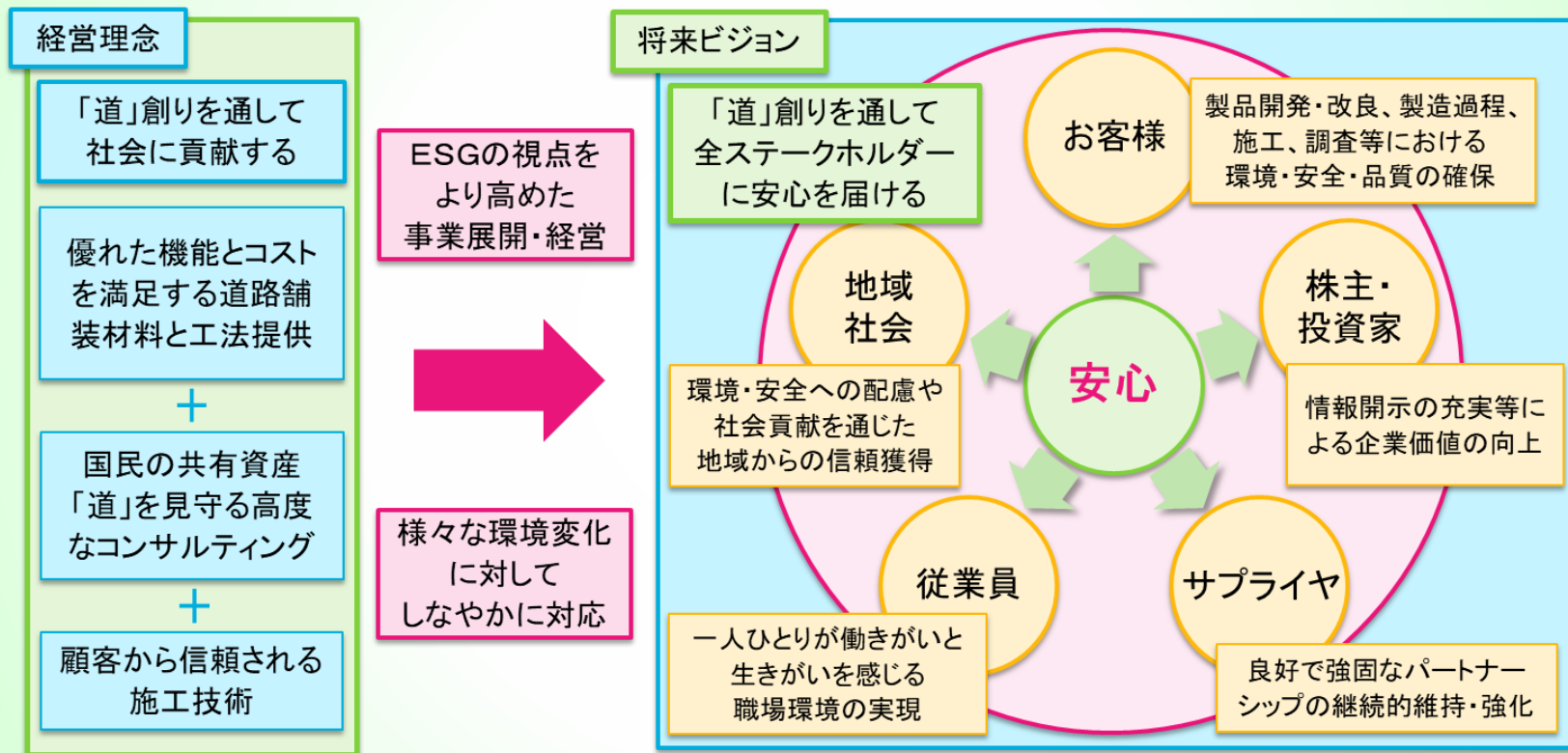
大規模かつ速い速度で進行していくことが想定される様々な環境変化に対して、迅速かつ的確な意思決定のもと、組織が一丸となってしなやかな対応を図り、持続可能な企業グループへと成長する。



# 本計画の位置付け



# 創業100年(2043年)将来ビジョン



# ESGに関する主な取り組み

**E** 環境製品・工法の充実



**S** 災害時における復旧支援等、地域・地元貢献



**G** ガバナンス強化(2022年4月、プライム市場へ)



# 「つくばビッグシップ」プロジェクトについて



生産能力の向上

高付加価値製品の製造

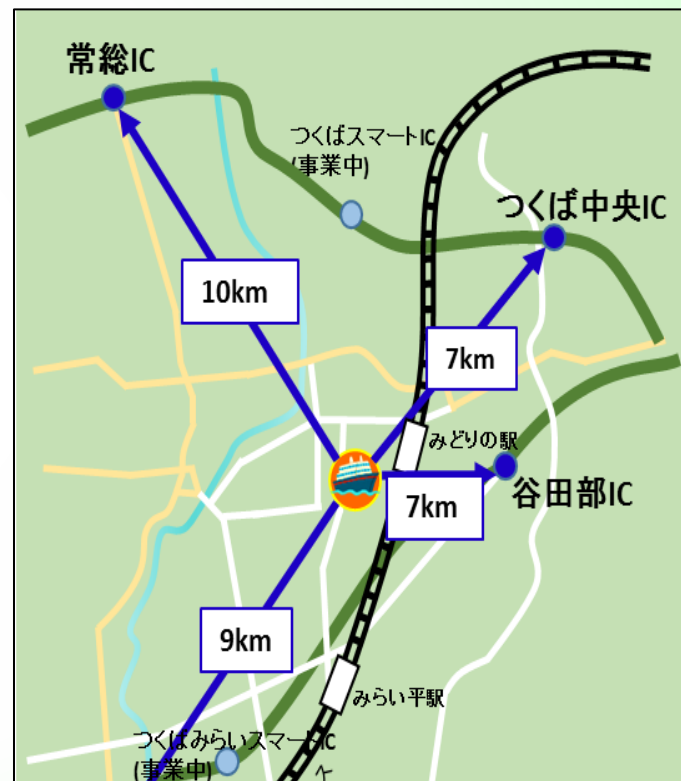
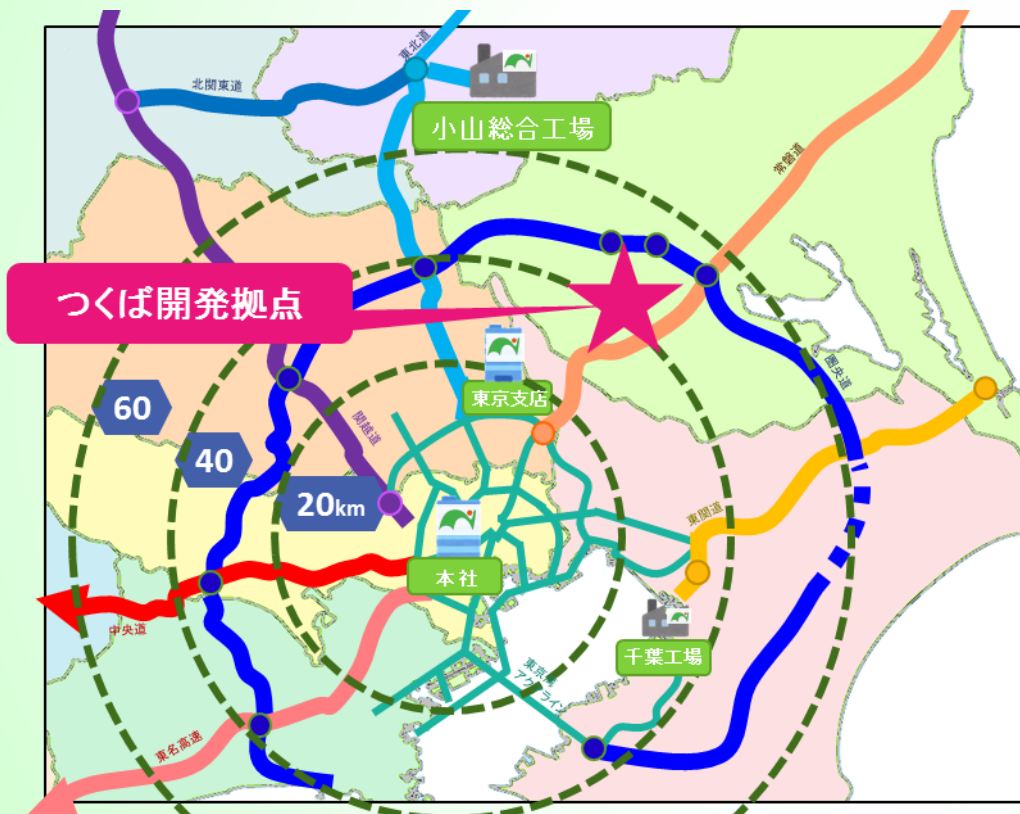
首都圏の「工事センター」機能

環境に配慮した生産・物流の実現

物流管理の効率化

BCP(事業継続計画)機能の強化

# つくば開発拠点へのアクセス



## Ⅲ. 2024年3月期

### 第1四半期概要と通期業績予想

## 当社グループを取り巻く事業環境

### ◆ 公共投資は底堅く推移

防災・減災、国土強靱化対策などが継続

### ◆ 事業進捗に地域差

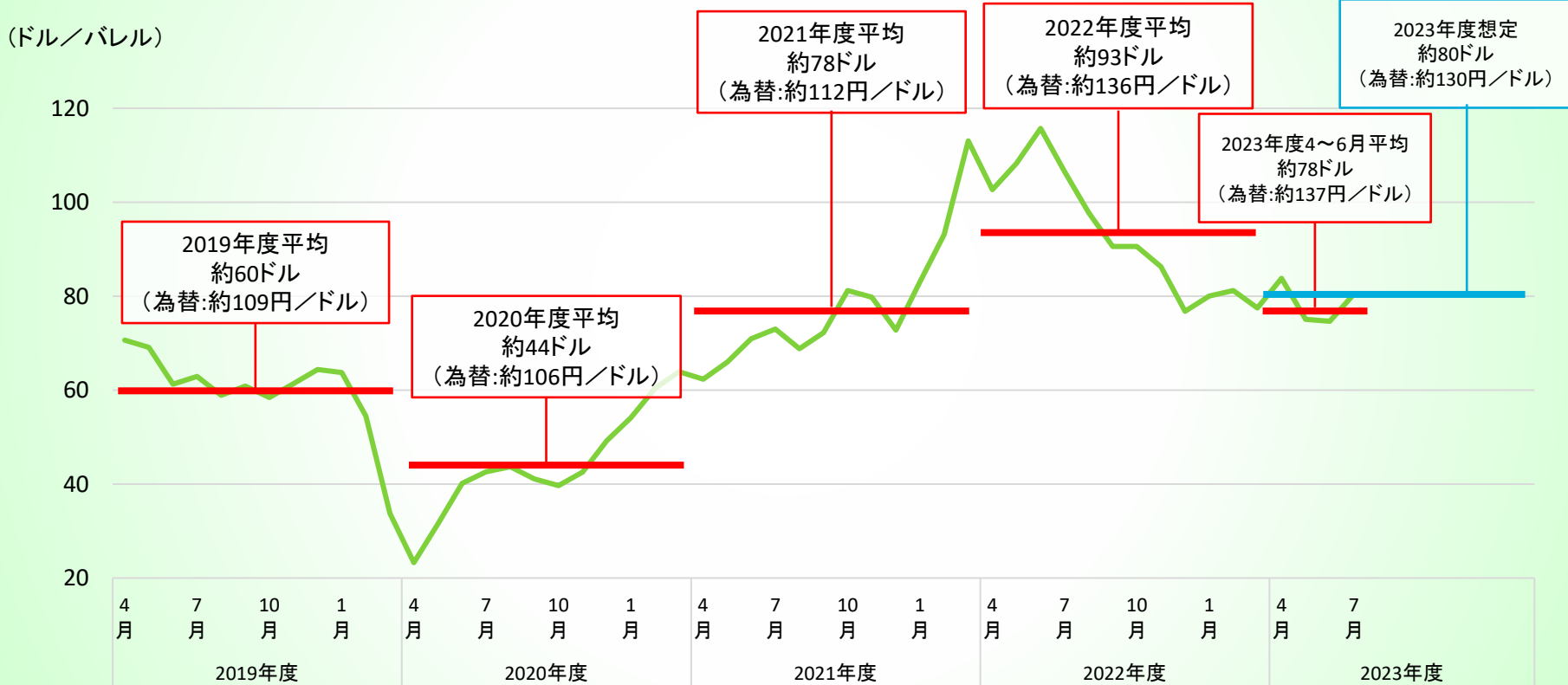
統一地方選挙、天候不順等の影響で、地域によって事業進捗に遅れ

### ◆ 原材料価格は高値圏で推移

円安傾向が依然として続く

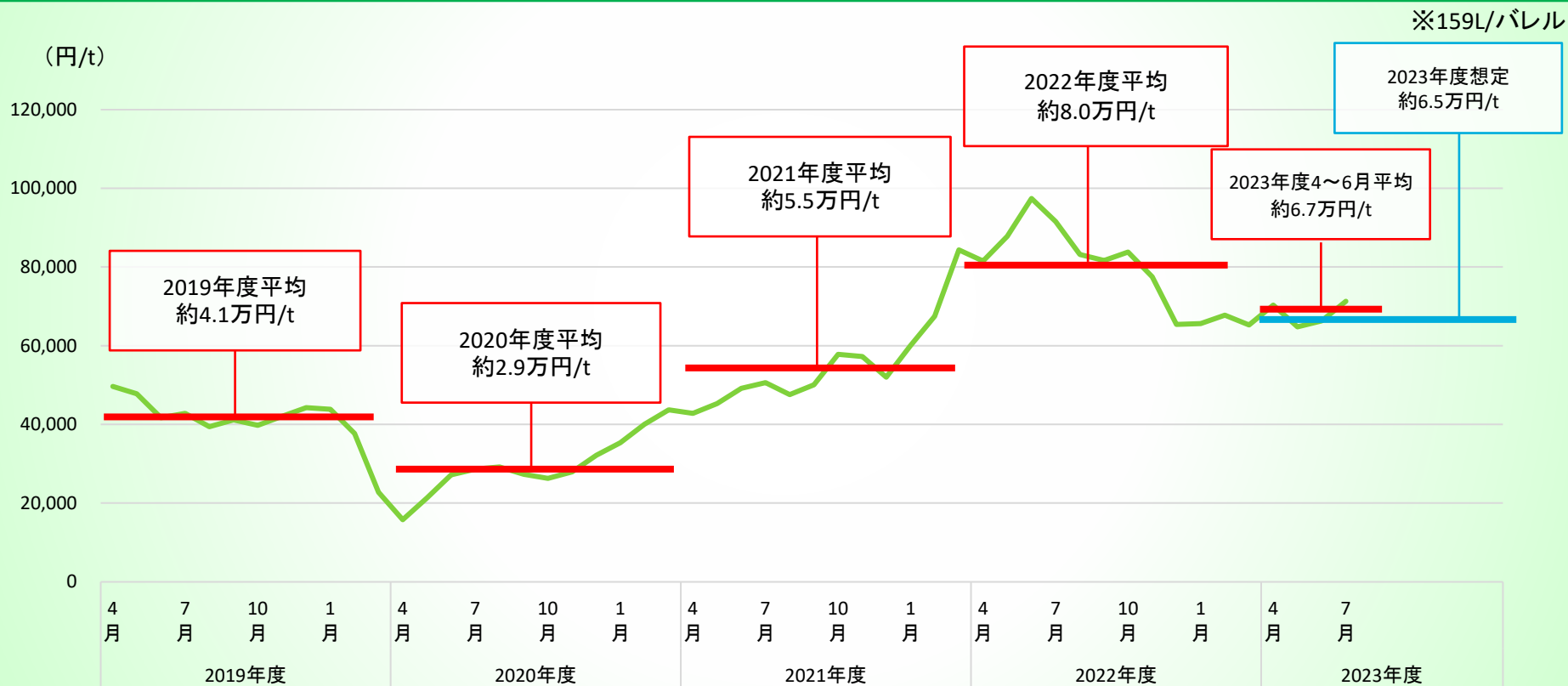
今後も原油価格や為替相場の動向等注視を要する状況

# 参考:ドバイ原油価格(ドル/バレル)





# 参考:ドバイ原油価格(円/t)



# 決算ハイライト II (連結経営成績)



(単位:百万円)

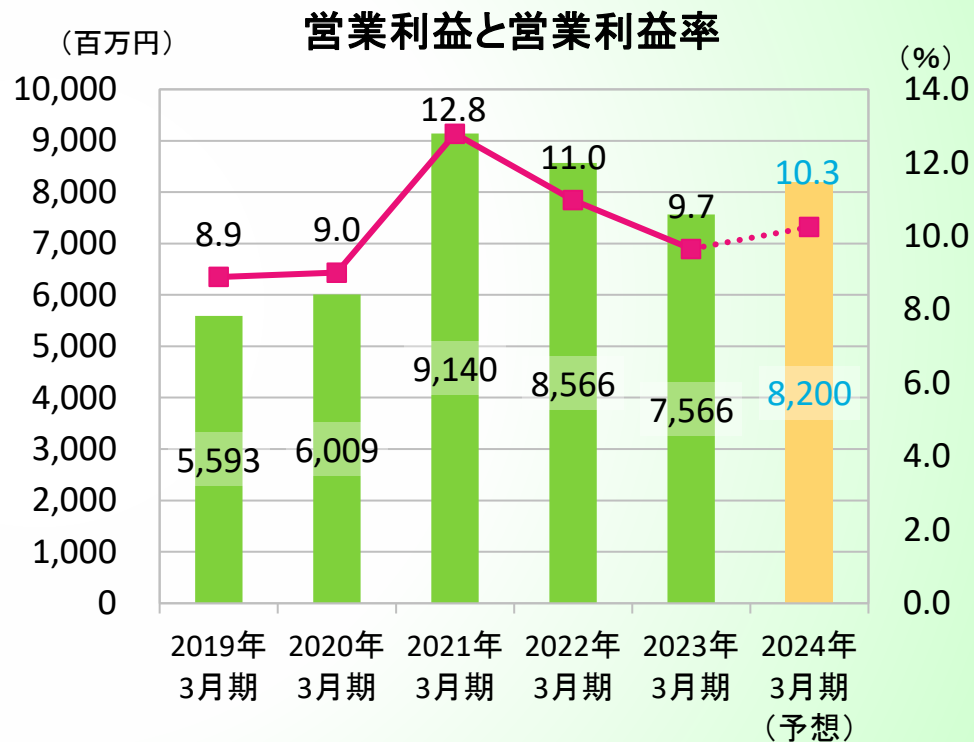
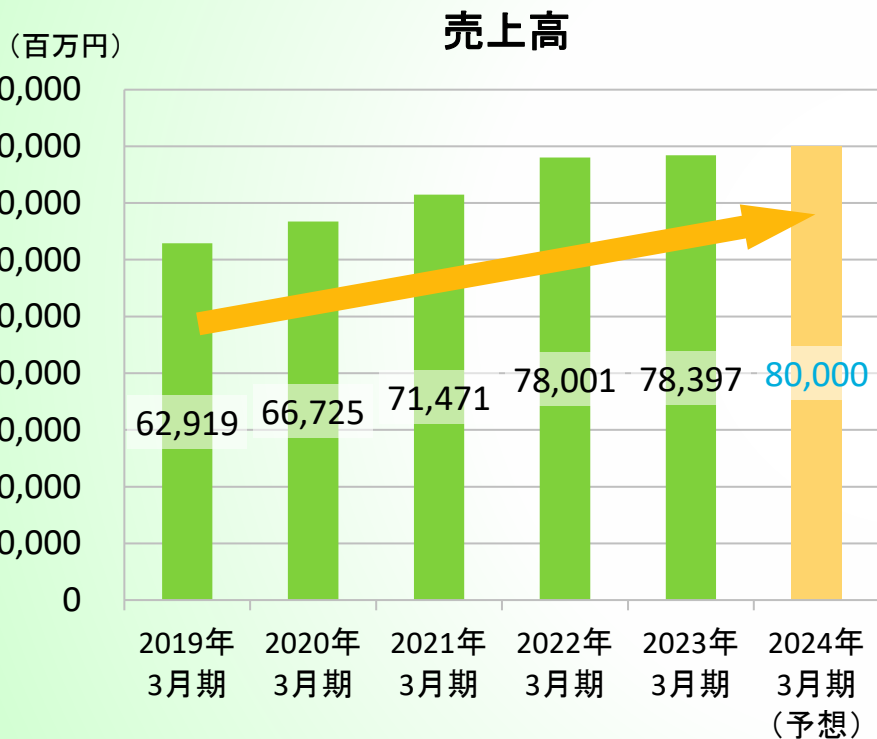
	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前期増減率
売上高	14,773	13,670	▲7.5% ↓
売上総利益	3,150	2,736	▲13.2% ↓
販売費及び一般管理費	2,506	2,619	4.5% ↑
営業利益	643	116	▲81.9% ↓
経常利益	997	535	▲46.4% ↓
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,685	288	▲82.9% ↓

# 通期業績予想(連結)

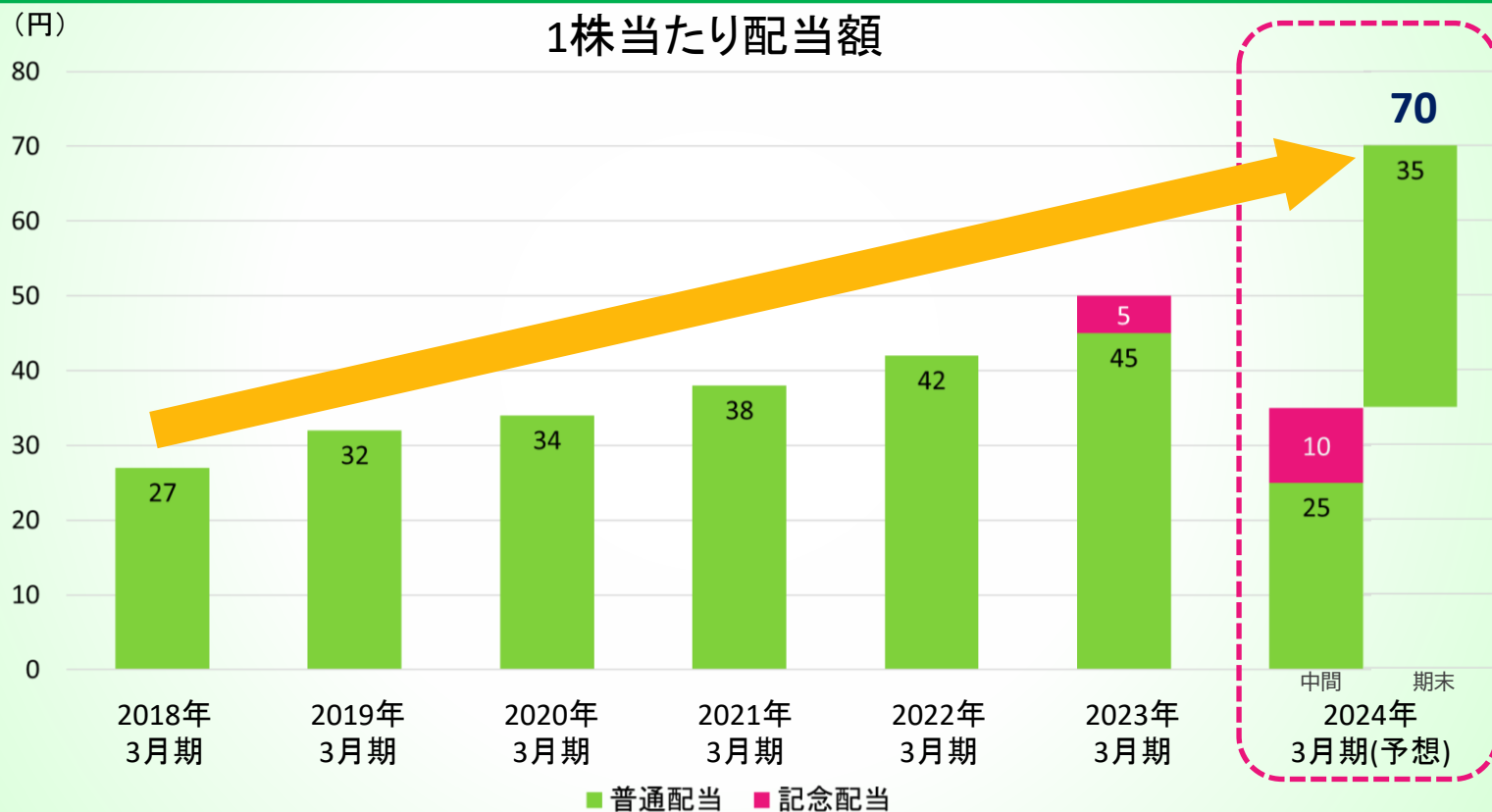
	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	対前期増減率
売上高	78,397	80,000	2.0%
営業利益	7,566	8,200	8.4%
経常利益	8,104	8,400	3.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,284	5,500	▲12.5%

※原油価格80ドル/バレル、為替130円/ドルで想定

# 通期業績予想(推移)



# 剰余金の配当の推移



# トピックス



4月

東北大学大学院に共同開発部門を開設

「GLOCAL-EYEZ」が国交省カタログに登録

ニチレキ大阪営業所、近畿ニチレキ工事  
南大阪支店、ラインファルト工業本社開設

5月

ラジオNIKKEI番組「企業トップが語る！  
威風堂々」ゲスト出演

7月

「東北ジャーナル」に対談記事掲載

「日本経済新聞」広告掲載①

ニチレキ那須営業所、  
日瀝道路那須営業所開設

8月

「日本経済新聞」広告掲載②

# 東北大学大学院における共同研究部門 開設

- ◆ 2023年4月、東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター（IMC）と共同して、「インフラマネジメント“足すテナビリティ”共同研究部門」を開設。



# 新聞広告掲載



◆2023年7月25日、8月3日 「日本経済新聞 朝刊」に2週連続のシリーズ広告を掲載。

82

## 車輪の下。

日々、重圧を受け続けるアスファルト舗装。  
疲弊したこのインフラを、ニチレキはどう救うのか。

つくるのは、未来につづく道。  
ニチレキ

足利コポリア  
NICHIREKI

82

## ノアの橋梁。

方舟への洪水を防いだアスファルトの力。  
橋を守るために、ニチレキはこの力をどう進化させたのか。

まちは、時代をつなぐ「橋」。  
ニチレキ

足利コポリア  
NICHIREKI



## ◆ ご注意事項

本資料に含まれる業績予想等の将来予測に関する記述は、資料作成時点における入手可能情報および、当社の判断・仮定に基づくものです。今後の経済状況および事業環境の変化等により、実際の業績は現時点の予測から乖離する可能性があります。

## ◆ お問い合わせ先

ニチレキ株式会社 広報部 IR担当

TEL：03-3265-1513（8:30～17:30、土日・祝日を除く）

HP： <https://www.nichireki.co.jp/inquiry/>